



#### 4. 活動内容

##### (1) 1年間の主な活動内容

本校の生活科、総合的な学習の時間に展開されている「町学習」で目ざす子どもは、ESDの目ざす「持続可能な社会へ構造を変えようとする人」の姿と重なる。ESDの要素を含んだ学習活動である町学習は、町へ出かけ、町の自然、環境、人、こと、ものに関わり合う体験的な学びを通して、主体的に課題に取り組み、発信しようとする子どもを育てていく学習である。

町学習の段階	学年	「単元名」 ○ 目ざす子どもの姿
	1年	「きせつとなかよし みんなともだち」 ○身近にある自然に親しみ、自然が大好き、学校大好きといえる子 ○自分が経験したことや思ったことをみんなの前で話すことができる子
	2年	「町のお気に入りを探しに行こう」 ○学区を探検し、お気に入りを見つけることで、自分の住む地域に親しみを感じる子 ○相手に応じ、調べたことや経験したことを分かりやすく話すことができる子
	3年	「聞いて！ぼくらのすごい町自まん」 ○町のお店調べやインタビュー活動を通して、地域の人、こと、ものに愛着をもつ子 ○相手や目的に応じ、調べたことや自分の考えを筋道立てて語れる子
	4年	「ぼくらの川 一二的沢川ー」 ○町の様子や自然環境を調べる中で、身近な川への愛着をもち、地域環境をよりよくしようと考えられる子 ○集めた情報から自分の考えをもち、相手や目的に応じて資料を使って説明できる子
	5年	「受け継ごう、祇園祭の素晴らしさ」 ○町の伝統を受け継ごうとしている人々と関わり合う中で、人々の思いや願いにふれ、ふるさとの将来を考えられる子 ○目的や意図に応じて、考えたことや伝えたいことの方法を選んで語るができる子
	6年	「ぼくらの町を盛り上げよう」 ○ふるさとの自然や歴史、文化、産業などから課題を見つけて、それを解決するため主体的に活動できる子 ○自分が得た情報を取捨選択し、多面的に捉え、聞き手の印象に残るように工夫して説明できる子

##### <成果と課題>

各学年の目ざす子どもの姿を掲げ、実践に取り組んだ。課題を見つけて友達や町の人、こと、ものに関わりながら主体的に活動する姿が見られた。

自分が調べたことに対して思いをもち、相手を意識して伝えようとする力を伸ばすための取組が来年度の課題である。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）